

シャプラニール様

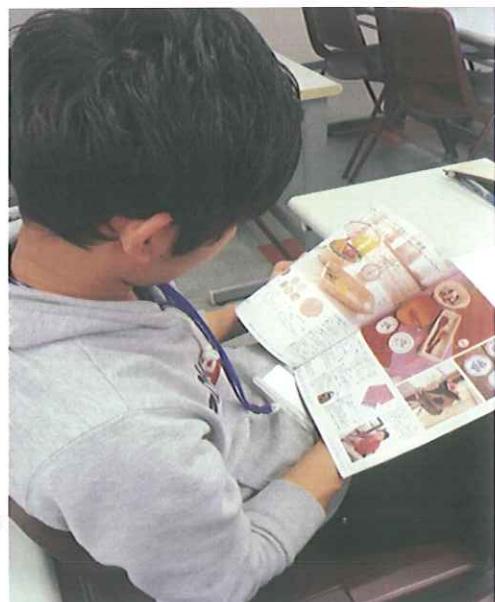
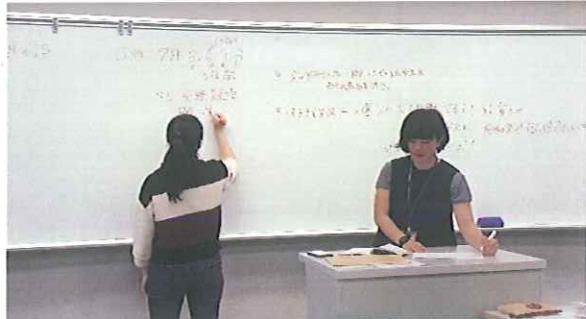
2017年7月13日

## 日本外国語専門学校 × シャプラニール様 学内委託販売活動記録

昨年に引き続き、シャプラニール様のご協力のもと学内委託販売の活動を再び成功させることができました。前回活動を行った3年生だけでなく、2年生と協力することで、より充実した内容になったと思います。また今回は、日本・バングラディッシュ文化交流会様にもご協力いただき、前回以上に多くのことを学ぶことができました。

### 4月 担当、役割決め

昨年の活動において、個々の役割が漠然としていたことから活動がまとまりにくいという事態が度々起きていた反省を踏まえ、今回は少人数のグループに分かれ、役割を割り振った上で活動を行うやり方を採用しました。それにより作業の効率化を図ることができました。



↑役割決めの様子。

⇒この段階から今回扱いたい商品を決めていくと同時に、商品知識を復習していき、販売当日に向けて準備を進めていきました。

昨年の経験を生かして、どのくらいのペースで活動を進めていかなければいけないか、商品はどういったものが良いか、店づくりや宣伝方法などの大まかな活動内容を決めておくことで、販売当日まで効率よく進めることができたと思います。

## 5月 学内ポスター作成

校内の学生や他学科の先生たちに活動を知つてもらうため、まずは学内に貼るポスターを作成しました。外国人も多くいる学校であるため、日本語だけでなく英語のポスターも作成。一人でも多くの人に来てもらえるよう試みました。



↑学内に貼ったポスター。委託販売の宣伝をするとともに、切手やはがきの回収活動を並行して行えるようにしました。

⇨外国人の人にも伝わるように、今回は英語のポスターも作成。できるだけ多くの人に協力していただけるよう工夫しました。

## 6月 看板、装飾等の作成、他学科訪問

本格的に店づくりに取り組み始めました。お店作りだけではなく、切手やはがきの回収用ボックス、他の学科の人に宣伝するための準備など、グループごとにあらゆる作業を並行して行いました。

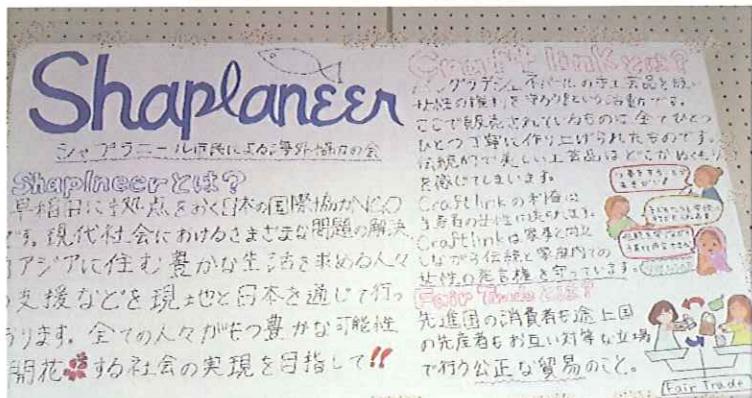
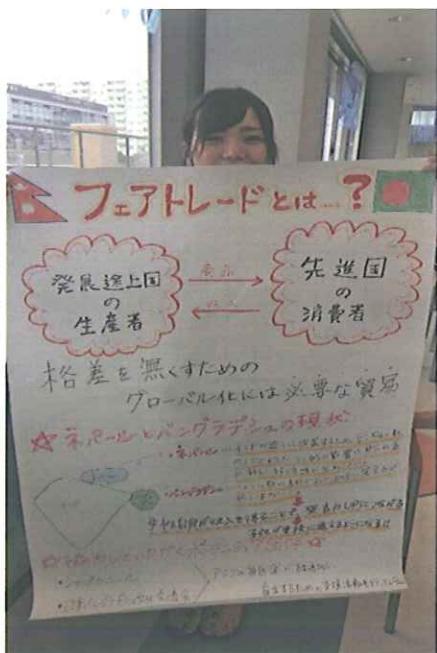
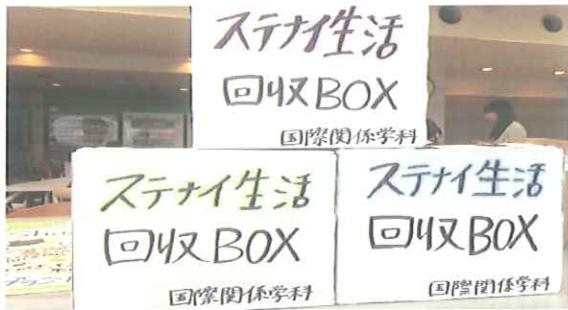


↑宣伝するために作成した看板。昨年同様、看板を用いることで効果的な活動を行うことができました。



⇨2、3年生が集まって活動について話し合っている様子。今回はひとつ学年が下の2年生とともに活動を行いました。中心となって活動していた3年生が卒業した後も継続してこの活動を続けていきたいと思い、できる限り多くの情報を共有しました。

⇒今回もステナイ生活の活動として、切手、はがき、外貨紙幣で不要な物を回収するためのボックスを作成し、委託販売と並行して行いました。日本外国語専門学校の校舎は数か所あるため、別の校舎でも回収ができるように複数のボックスを用意。多くの学生や先生に協力していただきました



↑⇒今回作成したポスター。ただ商品を買ってもらうだけではなく、この活動の意義やシャプラニール様について知ってもらうことで、この活動に関心をもってもらうこと、ネパールやバングラディッシュを少しでも身近に感じてもらうことを目的として作成しました。



⇒商品を紹介するためのポップや、お店の装飾も作成。できるだけ多くの人に見てもらえるよう、昨年以上に力を入れて作りました。これらで商品の詳しい説明をすることによって、ひとつひとつの商品をじっくり見てもらうことができ、買っていただくことにつなげることができたかと思います。

6月の最後から販売前日にかけて、他学科の授業の時間を借り、詳しい活動内容やシャプラニール様の紹介、おすすめの商品などの説明に出向きました。

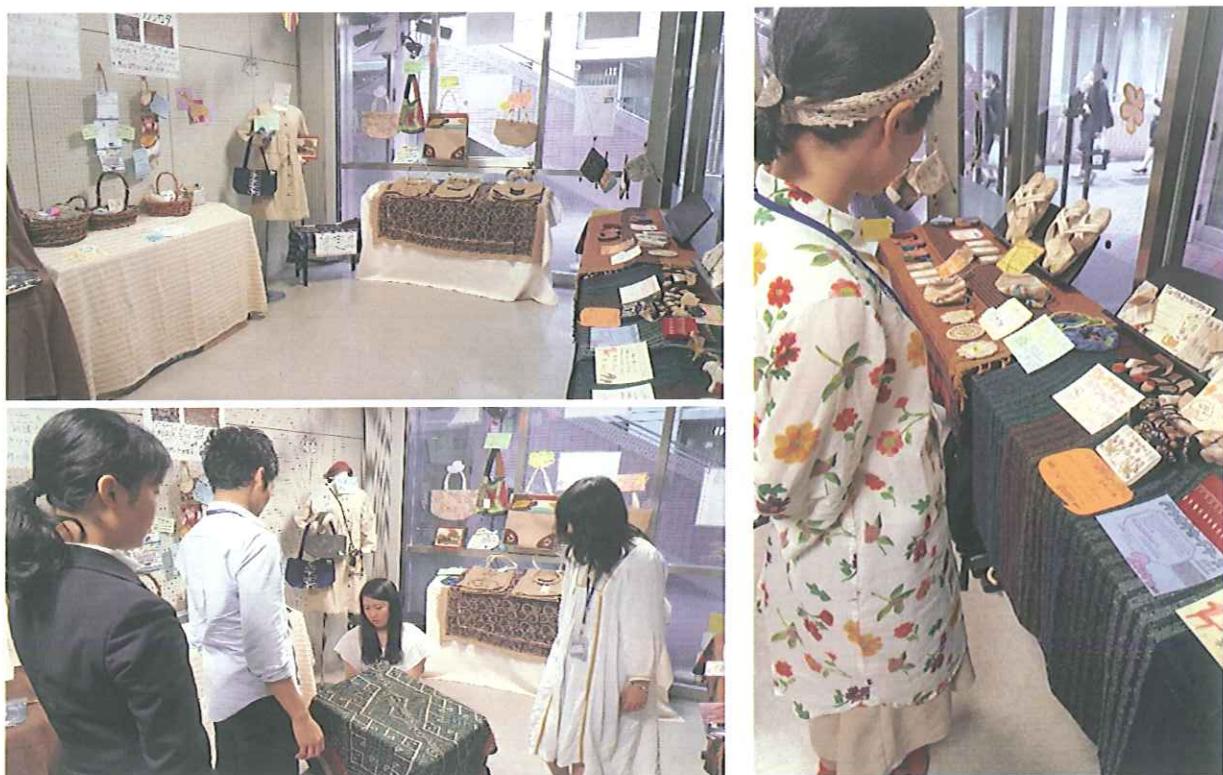


⇒他学科のクラスに訪問して委託販売の宣伝を行っている様子。販売日程のほかに、商品についての詳しい説明やシャプラニール様の紹介等を行いました。口頭でのみの説明を行った前回と違い、今回はスケッチブックに画像や解説を載せた紙芝居形式のプレゼンを採用。昨年よりもわかりやすく宣伝活動を行うことができました。

前回最も好評だった石鹼をおすすめ商品として紹介したことが、石鹼の好調な売れ行きに繋がったのだと思います。

## 7月5~7月7日 販売当日

昨年は2日間での販売であったが、今回は3日間行いました。またより多くの人に向けて活動ができるよう、1駅離れた校舎での販売も1日行いました。それによって昨年以上の売り上げを収めることに繋がりました。英語のポスターを作成した甲斐もあり、外国人の学生や先生も多くみられました。



↑店内のレイアウトの様子。昨年同様、教室を一部屋使用させてもらい、商品の配置や店内の装飾を完成させていきます。商品が少なくなっていくにつれて、配置も少しずつ変えていくなどの工夫もしました。また、スピーカーを使用し、店内にネパールの民族音楽を流すなど、昨年以上に雰囲気づくりにも力を入れました。



⇨休み時間や放課後を中心に、大勢の学生や先生方に来ていただきました。ちょうど学内で七タイイベントが行われる日と重なったため、浴衣姿の学生も多くみられました。授業中などの少し落ちていた時間を利用し、在庫の管理や店内のレイアウトの変更などを行っていきます。



⇨石鹼のほかにも多くの商品を買ってくれた学生。昨年石鹼を買ってくれた人からおすすめされ、最初から石鹼を買おうと決めていたとのことでした。また浴衣を着る七タイイベントが重なっていたため、ポーチなどの浴衣にぴったりの商品も人気がありました。



↑多めに用意した商品も、写真のようにすぐに売れていきました。昨年買ってくれた人からの口コミや、前回の経験を活かしてのPR活動が功を奏し、昨年を上回るペースで買っていただけました。特に消耗品の石鹼や、学生にとってなじみのあるパスケースなどの商品は買いやすいようで、すぐに完売となりました。どの商品をおすすめとして紹介するかが、売れ行きを大きく左右することを実感でき、今後の活動に活かすことができそうです。

今回は隣の目白駅前にある校舎でも販売を行いました。7月7日の午前中のみの販売でしたが、事前のPR活動の影響もあってか売上げは好調で、外国人の先生を含む多くの人に来ていただきました。



←目白駅前の校舎(目白館)での販売の様子。短い販売時間にも関わらず、大勢の人で賑わいました。この校舎以外行くことがない学生もいるため、目白館での販売活動は大成功だったと思います。



↑今回行った目白でのPR活動の成果もあり、多くの人に買っていただくことができました。

## 販売を終えて



↑ステナイ生活の活動で集めることができた切手や外貨紙幣。今回も大勢のひとに協力していただきました。

ちょうどこの時期、3年生は就職活動にも取り組んでおり忙しい中での活動でしたが、今回も前回同様、学科仲間全員で一つのことをやり遂げることができ、非常にやりがいを感じることができました。今回のように学科全体でなにかを創り上げていく機会はあまりなく、また異文化にも触れることができ貴重な経験をさせていただけたと実感しています。

今後も今回のような活動を通して、学年や学科を超えてなにかを伝えていけたらと思っていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

